

5 領域プログラム

(健康・生活)

- ・児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。
- ・生活するうえで必要なスキルの練習を行います。

(運動・感覚)

- ・模倣遊びや手遊びを取り入れることでリズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。
- ・トランポリンや平均台、ボール遊びを通じて体を動かすことを取り入れます。

(認知・行動)

- ・ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。
- ・支援教材は、個々に手作りしてその児童にあったサイズ感や色遣いでストレスなく過ごせるよう支援します。

(言語・コミュニケーション)

- ・家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。

(人間関係・社会性)

- ・個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。
- ・人の気持ちや感情などを考えることができるように、SSTを行います。

(総合的支援)

- ・さまざまなイベントを催すことで、総合的に支援します。時には、将来のことを考え、資格試験等の手助けも行います。

(実績:PC 認定試験 日本情報処理検定協会主催)